

## 学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 中津商業高等学校 学校運営協議会 (第1回)
- 2 開催日時 令和7年7月2日(水) 13:30～15:30
- 3 開催場所 中津商業高等学校会議室  
開催にあたり、生徒発表を参観した
- 4 参加者
 

|        |       |                   |
|--------|-------|-------------------|
| 会 長    | 成瀬 博明 | 本校同窓会会長           |
| 副 会 長  | 保母 龍興 | 本校同窓会副会長          |
| 委 員    | 児玉 光弘 | 地域住民代表、学識経験者      |
|        | 李 瑾   | 中京学院大学准教授         |
|        | 平岡 淳  | 中津川市立第一中学校校長      |
|        | 有我友香理 | 中津川市市民部地域づくり協働課主査 |
|        | 鈴木 真弓 | 中津川市商工観光部工業課係長    |
|        | 久木 利道 | トーキン工業(株)相談役      |
|        | 野田賢太郎 | 本校PTA会長(欠席)       |
|        | 大蔵 誠  | 本校PTA役員           |
| オブザーバー | 原 祐一  | 本校元校長             |
|        | 森 益基  | 岐阜県議会議員(欠席)       |
| 学 校 側  | 丸山 裕  | 校 長               |
|        | 足立 幸司 | 教 頭               |
|        | 松村 勇一 | 事務長               |
|        | 宮地 佳予 | 教務主任              |
|        | 熊谷 秀太 | 生徒指導部長            |
|        | 坂本 美和 | 進路指導部長            |
|        | 伊藤 秀典 | 商業教育部長            |
|        | 勝野日菜子 | 記録                |

## 5 会議の概要(協議事項)

## (1) 学校運営の方針と重点について

令和7年度教育指導の重点及び学校経営計画について  
 生徒心得について  
 学校組織編制について  
 教育課程について  
 年間行事計画について

(2) 各委員からの意見

- 意見1：商業科の特性としてプレゼンテーション能力を付けさせ、それを一つの特徴とする  
とよい。また語学力もしっかりと高めてほしい。新しいものを学校に取り入れ、若  
い世代のニーズに応えることも大切である。
- 意見2：商品開発時において繰り返されるディベートは人と関わることを大切にする学校の  
方針と一致している。また、スピーチコンテストでは英語が話せるだけではだめで、  
内容が必要である。その内容を作り上げるのが読書である。本校では読書週間も取  
り入れられているので大切にしていってほしい。それが学校教育活動の重点に  
位置付けられているのがよい。
- 意見3：生徒のプレゼンテーション能力が年々上がってきている。新商品をどのようにPR  
をしていくのか期待している。中津川市と様々なところで連携できていけたらよい。
- 意見4：商品開発を進めていく過程の中で、何度も評価して分析をするなどPDCAサイク  
ルがしっかりとできている。これらの経験を記録し残すことによって、後輩に伝え  
てほしい。
- 意見5：本年新開発のアイスクリームも非常においしくできている。高校生の固定観念が柔  
軟であるからよいものができているのではないか。今回の商品開発で得た経験が一  
人一人の力になっていく。いろいろな場面でこの経験で得た力を活かしてほしい。
- 意見6：プレゼンテーション力・企画力・議論する力等、高校3年間での成長は素晴らしい。  
これらで必要なコミュニケーション力を付けさせるため、いろいろな取り組みを通  
して中学校と高校が同じ歩調で進めていくことは重要である。
- 意見7：商品開発の能力が飛躍的によくなっている。特に昨年度から印象がよい。中津  
川市には外国人が多く訪れる。6月から8月にかけては子供連れの観光客が多い。  
そこをターゲットに販売したらどうか。外国の人たちがSNSで商品の良さを世界  
に拡散してくれる。
- 意見8：若者の地元への定着を進めるために、中津川市と学校と連携を図りながら進めてい  
きたい。

6 会議のまとめ

第1回学校運営協議会では、全委員より今年度の本校の学校経営計画を踏まえた学校運営基  
本方針について承認が得られた。

今回流通コースの課題研究の一環である新商品の開発に係る発表を参観してもらったが、商  
品企画力、プレゼンテーション力、商品の完成度について高い評価を得た。このような本校の  
特色ある学びを地域の力を借りながらさらに進化させ、教育活動に活かしていきたい。